

# Julabo Case Study

## JULABO PRESTO W92tt

100L反応容器を  
+20℃から0℃に冷却。



### 目的：

このケーススタディでは100リットルのガラスリアクターでJULABO PRESTO W92ttの冷却能力のテストを実施。W92ttは、片道3mのメタルチューブでリアクターに接続されています。+20℃から0℃にクールダウンするようにプログラムされています。

### 試験条件：

使用機器	ユラボ社製 PRESTO W92tt
冷却能力	+20 °C 19 kW 0 °C 15.5 kW -20 °C 9.5 kW
加熱容量	36 kW
バンドリミット	with
ポンプ圧	0.5 bar
循環液	ユラボ社製 サーマルHL80
反応容器	100Lガラス反応容器 (Büchi Glas) 容器内にはエタノールを70L充填
ジャケット充填量	30L
温度制御	外部制御(ICC)

### 環境：

室温	20 °C
湿度	45 %
電源	400 V / 50 Hz



### 試験結果：

次ページのグラフを参照ください。： W92tt冷却温度プログラムでは、+20℃から0℃へ40分オーバーシュート無しで実施。

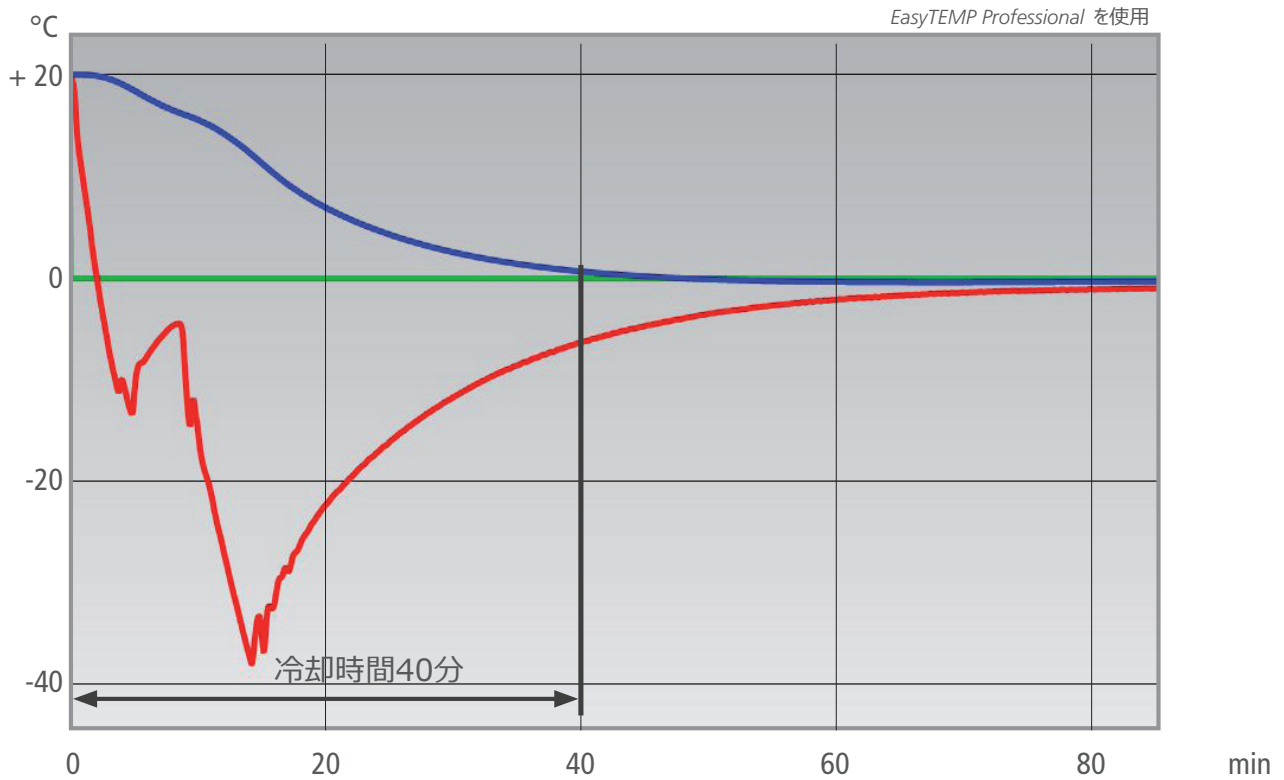
### その他機能

テフロンコーティングのPt100センサーを使用しています。

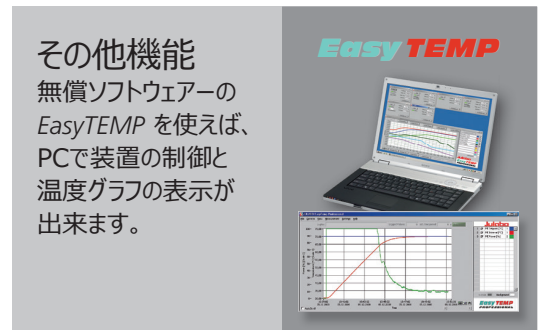
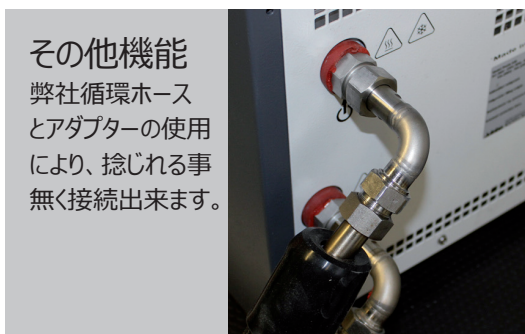
次ページにも  
情報があります >>



JULABO GmbH  
Eisenbahnstraße 45  
77960 Seelbach / Germany  
Tel. +49 (0) 7823 51-0



- 設定温度
- ガラス反応容器内温度
- ガラス反応容器ジャケット温度



JULABO GmbH  
 Eisenbahnstraße 45  
 77960 Seelbach / Germany  
 Tel. +49 (0) 7823 51-0